

クリニックレター 2023年11月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック
TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

- 院内では、マスク（不織布マスク）装着をお願いします。
- クリニック待合室での大声での会話などはお控えください。
- 発熱・咽頭痛などの症状がある場合は、あらかじめご連絡ください。

以上、ご協力をお願いいたします。

電子カルテシステム変更のお知らせ

12月より、当院の電子カルテシステムを変更いたします。これにより、スマホやパソコンでの診療予約が簡単になります。

オンライン診療も通常の診療時間内に予約いただけるようになります。

*オンライン診療は、いまのところ西本院長に限っていますが、来年1月からは女性内科（浅井医師、松岡医師）の時間帯でもご利用いただけるよう、計画しております。

*新システム導入後しばらくは、診察時間や受付での待ち時間が長くなることをご予想されます。申し訳ございませんが、どうぞご理解ください。

江戸期の漢方

8月に入ってからいろんなことが重なり、私（西本）にしては、近年まれにみる忙しい日が続いています。「いろんなこと」の一つが、東洋医学会（漢方を専門とする医師・薬剤師・鍼灸師などの学会）の関西支部会でのシンポジウムの準備でした。シンポジウム自体は、現在、日本で常用されているいくつかの漢方用語が、いつごろから使われるようになったか、というようなテーマだったのですが、今まであまり勉強してこなかった江戸時代の日本漢方についての知識を得る必要があったため、普段とはちょっと毛色の違う書物や文献を漁ることになりました。

*今、「江戸時代の日本漢方」と書きましたが、「漢方」という言葉は、日本の江戸時代に、当時新しく日本に入ってきた西洋医学（この当時はオランダ医学）＝「蘭方」に対して、このころは「本道」と呼ばれていた伝統医学を「漢方」と称するようになった訳で、「漢方」という言葉は日本でしか用いられない用語です。

「四書五経」という言葉をご存知でしょうか？四書は『論語』『大学』『中庸』『孟子』、五経は『易経』『書経』『詩経』『礼記』『春秋』、もちろん私も読んだことはありますが、江戸期の学問と言えば、まず、これらの古典（もちろん漢文）を素読することから始まりました。「し、のたまわく・・・」というあれです。

ちなみに、あの二宮金次郎（といっても若い方はご存じないかも）が、薪を背負いながら読んでいる本が「大学」であったということも知りました。

これら四書五経を核とした学問が儒学であり、儒学を修めた人は儒者と呼ばれていましたが、儒学こそが学問であり、当時の中国や朝鮮では儒学を究めて「科挙」に合格する、つまり立身出世への道を歩むことが可能だったのに対し、科挙制度がなく多くの官職が世襲であった日本では、学問をすることが、いわゆる「たつき」には繋がらず、そこで、中国の医学書を読める素養のある儒者が医学を学んで医師になる（当時は医師免許などなかったの）ことが普通に行われていました。

16世紀後半から17世紀にかけて、京都を中心に、当時江戸幕府の思想的バックボーンでもあった朱子学（12世紀に朱熹によって作られた儒学の学派）に対して、朱熹以前の「古学」に還れ、という潮流が生まれました。伊藤仁斎、荻生徂徠などが古学派の中心的人物として有名ですが、彼らの思想に影響され、医学の世界でも、当時の主流であった医学に対して疑問を持ち、中国医学の原点でもある『傷寒論』の世界に還れ、という人たちが台頭してきました。その中でも最も有名なのが、日本漢方特に古方派の元祖とも言うべき「吉益東洞（ヨシタウドウ：1702-1773）」、そして、私が勉強した中で最も興味を引かれたのが、中神琴溪（ナカノシヅカ：1744-1833）でした。この二人の医師については、次号で引き続き書く予定ですが、彼らが、江戸時代の限られた情報と資源のなか、さまざまな疫病やこれまで経験したことのなかった疾患（その代表が「梅毒」でした）を目の前に、臨床医として闘ってきた姿は、新型コロナウイルス感染症やその後遺症という、新しい敵に出会った私達にとっても、非常に示唆に富んだ「学び」でした。

➡二宮金次郎が読んでいたとされる「大学」のなかにある「小人閑居して不善を為す」という言葉。私がよく父に言われたのを思い出します！！



お知らせ

- 年末の診療は12月29日金曜午前診までとさせていただきます。新年は1月5日金曜から診療いたします。
- 電子カルテリニューアルの準備のため、11月7日から11月17日までの間、オンライン診療を休止いたします。

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及びクリニック周辺の道路には、駐車されないようお願いします。駐車場に空きがない場合は周辺のコインパーキングをご利用ください。駐車場の奥から3台分（①②③）のスペースはクリニックの駐車場ではありません。最近、間違っって車を停められるケースがあり、借主の方に大変ご迷惑をおかけしていますので、くれぐれもご注意ください！